

山口ゆか

が取り組んできたものを抜粋

※細かいものは省略しています

まちづくり

道路

- 東西道路の整備
 - 大県本郷線 →この先10年のうちに170号線まで事業着手
 - 田辺旭ヶ丘線 ←事業継続を再評価されている。道路整備を国道25号バイパス ←国土強靭化の重要性を国へ訴えよ
 - 西名阪自動車道スマートインターチェンジ ←企業誘致を

安全

- 交通安全 ←歩道やガードレールの整備で交通弱者を守れ
- 子どもの安全確保 ←行政・警察・地域が連携して情報共有を
- AED設置場所 ←AEDがすぐに使える環境の整備

災害対策

- 災害時の上下水 ←停電対策の強化を
- 空家 ←緊急時対応策として予め何らかの取り決めを
- 避難所 ←避難者向けの運営マニュアル作成促進
- 情報発信 ←地域ごとに細分化した情報発信を

他

- 国土強靭化 →強い柏原にするため地域計画の作成
- 森林環境の整備 ←森林を整備して付加価値をつける
- 生産緑地 ←法改正に伴い、農地を市民農園や緑地公園に整備
- 市立柏原病院 ←市民に望まれる病院を目指して
- 新婚補助と新生活支援 ←地方から大阪にきて新生活を始めの方に柏原を選んでもらう施策を

市民の生命と生活

教育環境

- いじめ問題 ←いじめの「芽」や「兆候」を見逃さず子どものSOSを受け取る仕組みづくりを
- 市独自の学力向上 ←成果のあった取組を集約し、柏原版モデルの構築 学力向上モデルの構築を
- ICT教育環境の整備 →コロナ禍で国主導により整備が加速
- ICT教育環境に関する課題 ←インターネットの被害から子どもたちを守る対策を
- 学校トイレの洋式化 →計画立てて整備開始
- 人権教育 ←命の尊さ、人の生きる権利を道徳を通じて教育を(北朝鮮拉致問題・ウイグル人権弾圧など)

生活環境

- 保育士不足問題 ←潜在保育士の掘り起こし、セミナー実施を
- 不妊治療と不育症助成 ←少子化対策、市独自の支援策を
- ポイ捨て禁止条例 ←条例があるのだから、コロナ禍の今こそ衛生意識の啓発が重要
- コロナによる減収の 事業者に支援策を ←速効性と公平性を担保しながら市独自の支援策を

各議会の質問に関しては議会報告書を作成しており、山口ゆかWEBサイトにアップしていますのでダウンロードしてください。紙面をご希望の方は山口までご連絡ください。



9月をもって市議会議員2期目の任期が終わります。市民の皆さまに支えられ、8年の職務を果たせることに、感謝の気持ちでいっぱいです。これまでの間、私なりの「けじめ」を貫いてまいりました。私自身、議員になる前は議会で何をやっているか見えないと感じていたので、議会報告書はもちろんのこと、議会報告会やウェブ発信もしてまいりました。そしてこれらの費用は、公金である政務活動費ではなく、議員報酬(平成25年より増額分を全額積立)からまかなってまいりました。

チラシにキヤッチフレーズとして載せたり、公約を掲げるだけではなく、いかに実行するかを重視して取り組んでまいりました。今後も、この想いは揺るぐことはありません。自分なりの『松柏之操』を守り続けていくと改めて覚悟を決めています。

20年30年先の柏原のために、今の私たちに何が出来るのか、何をしていくべきなのかを考え、これからも議会活動に邁進していく所存ですので、皆さまには引き続きのご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

松柏之操

—しようはくのみさお—

山口ゆかが目指す8つの指針

人口	若い世代の流入を増やす施策や、出生率を上げるための動機づけとなる施策で、柏原市の人口増加を目指す。
交通利便性	人口を増加させ快速・急行が停まるまちに。歩道の整備。東西道路が必要。踏切や特定の交差点での慢性的な渋滞改善。
高齢福祉	独居の高齢者の見まもりを充実させる。外出自粛で心身機能の低下が懸念。介護予防を重視していかなければなりません。
地域	ひと気の少ない場所、暗い場所に防犯カメラの設置を。子ども会や老人会が減っている。地域コミュニティの必要性。
教育	児童生徒数の実情を鑑みた小中学校の再構築を。基礎学力の徹底指導、勉強のトータル時間を確保させて学力向上へ。
子育て	多世代が憩える緑地公園の整備を目指す。柏原地区にも病児・病後児保育の創設を目指す。
産業	コロナで影響を受けた事業者のための支援策を。計画的に企業を誘致し、雇用の創出を目指す。森林や休耕地の活用。
まちの魅力	面積の多くが山間部だからこそ、山や川の自然を活かして他市から人が訪れる魅力あるまちづくりを目指す。

6月議会で会派「女性超党派りんどう」を代表して登壇しました。新庁舎が完成し、新しい議場での初の議会となり、その場に立つことが出来て大変光栄に思います。この機会をいただきましたことに心から感謝申し上げます。それと同時に、この議会で2期目の任期最後の登壇となりました。この4年間、必要なこと、やれることは力を出し切りました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症による公衆衛生、

雲外蒼天

医療ひっ迫の問題、市内商店の苦境、市民の皆さんのが生活の変化や厳しさなどの問題が拡がっています。加えて、人口減少、自然環境、道路事情、教育、子育てなど、柏原市が本質的に抱える問題もさらに取り組んでいかねばなりません。

雲を突き抜けたその先には、必ず青空がひろがっていると信じ、残りわずかの任期を全力で全うし、これからも柏原市のために尽力していく決意を新たにしています。



市議会議員2期目
無所属(保守系)

堅下小学校、堅下北中学校卒業。
2人の子をもつシングルマザーです。
市議会の会派は
「女性超党派りんどう」です。
住まいは上市3丁目^上
事務所は法善寺にあります。

山口ゆか プロフィール



後援会会員を募集しています ウェブサイト・電話・FAX・メールで随時受付中!
一緒に政策を考える「柏原力UPの会」の会員を募集しています

山口由華後援会

〒582-0005 柏原市法善寺2-3-23
tel. 072-921-7430 fax. 072-926-5077

Webサイト
<http://yamaguchiyuka.com>
Eメール
info@yamaguchiyuka.com

発行・編集 山口ゆか事務所 〒582-0007 柏原市上市3丁目10-30 TEL 072-921-7430 討議資料